

件 名	令和 8 年度 第 1 回 福井市障がい者自立支援協議会 就労支援部会報告書	作成日	令和 8 年 5 月 2 2 日
		作成者	熊本 浩之
日 時	令和 8 年 5 月 2 0 日（水） 1 0 : 0 0 ～ 1 1 : 3 0	会 場	宝永公民館
出席者	別紙参照		
欠席者			
部会長 選出	部会長は委員の互選により選出する。各委員の自己紹介の後、伊藤委員より富田委員を部会長にとの推薦があり、全会一致で承認された。 富田新部会長より、今年度発足した就労支援事業所連絡会とも協力・連携し就労に関する地域課題の解決をすすめていきたいとの挨拶があった。		
確認事項	自立支援協議会に関する事項 資料 1 参照 協議に先立ち、事務局より資料に基づき委員に説明し確認された。		
協議内容	1. 今年度の活動方針 資料 2 参照 2. 就労支援部会から出てきた課題等について 資料 3 参照 3. その他報告・確認事項 資料 4 資料 5 資料 6 資料 7 参照		
協議結果	事務局より資料に基づき説明をおこない、各委員より承認を得た。		
委員意見	野中委員 当事者・家族の立場から、皆さんと一緒に就労支援について考え、協議に加わる必要がある。 橋本委員 昨年度から就労選択支援が開始され、モデル事業報告会や連絡会設立総会で教育分野の立場から発表を行った。今後は福祉との連携が一層重要になることから、教育現場としてできる取組を進めていきたい。 村中委員 サポステでは障害者支援に限らず幅広い若者支援を行っているが、障害受容が難しい本人・家族の存在が地域共通の課題であると感じている。支援の入口として地域連携を強化し、共に学びながら支援していきたい。 山口委員 部会を通じて様々なことを学び、その学びを地域や日々の業務に活かしていきたい。 山崎委員 今年度は協議を重視する方針であることから、地域課題に対する具体的な取組につなげていきたい。 川端委員 今年度から初めて部会に参加する。皆さんと共に学びながら少しでも力になれるよう取り組みたい。 柴田委員 合同説明会への参加経験も踏まえ、多くを学びながら部会に貢献していきたい。 田中委員 精神科病院の立場から、就労は生活や自立支援と密接に関わるものであり、治療を継続しながら障害と向き合う方々への支援について、部会の中で情報共有しながら取		

	り組んでいきたい。 山上委員 法定雇用率が 2.5%から 2.7%へ引き上げられ、従業員 38 人規模の企業でも障害者雇用義務が生じるようになる。これまで雇用経験のない企業への支援も必要となるため、ハローワークだけでなく関係機関との連携をお願いしたい。 秋山委員 福井障害者職業センターはジョブコーチ支援や職場定着支援など就労支援の出口を担う機関である。個別ケースを通じて見える地域課題やセンターの立場からの視点を共有し、地域課題の解決に向けて発信を行う必要がある。 笠島委員 ワークフェアや学生向けセミナーを担当しており、必要な支援へつなげられるよう取り組みたい。 伊藤委員 事業所では「就職したいがうまくいかない」と悩む利用者の相談を日々受けている。これは事業所だけの課題ではなく地域全体の課題でもあると考えており、課題を整理し、関係機関と協力して解決に取り組んでいきたいとの意見があった。 森島委員 利用者から就労に関する相談を受ける機会が多く、部会で課題を共有しながら皆さんの意見を伺いたい。また、医療法人として医師から就労支援に関する相談も多く受けていることや、「ふくい就労支援事業所連絡会」の役員として両者の橋渡し役も担いたい。 山田委員 これまでは相談支援連絡会で就労支援部会の報告を聞く立場であったが、今回初めて委員として参加し、実際の協議の流れを学ぶことができた。相談支援専門員として、皆さんと共に学び成長していきたい。 事務局より 事務局より、各委員からの意見を踏まえながら就労支援について協議を進め、一人でも多くの障害のある方が安心して明るく暮らせる地域づくりを推進していきたいとの説明があった。
提案事項	事務局より、各委員へ案内等メール連絡をする際に、CC にて一斉送信することを提案。全委員より了承を得た。
次 回	令和 8 年 8 月 1 9 日 1 4 : 0 0 ～開催